

# エルム

エルム第11号  
発行 / 特定医療法人  
北榆会 札幌北榆病院  
編集 / 広報委員会  
責任者 / 久木田和丘  
発行 /  
平成13年10月1日

第22回日本アフェレシス学会学術大会  
第40回日本人工臓器学会大会  
第6回アクセス研究会  
日本医工学治療学会第19回学術大会  
第7回日本気胸学会総会

全国規模の学会・研究会を当院が主催

平成14年から15年にかけて、全国規模の学会・研究会を当院がお世話することになりました。

日本アフェレシス学会、日本人工臓器学会は川村理事長、アクセス研究会は久木田AOCセンター長、日本医工学治療学会は米川院長、日本気胸学会は本田部長（呼吸器科）がそれぞれ会長をつとめます。なお、日本医工学治療学会は平成8年に川村理事長が会長をつとめ、当院としては2度目のお世話となります。

当院のような法人が全国規模の医学会を立て続けに開催することは、極めて異例で名誉なことです。とくに日本人工臓器学会は民間病院が主催するのは初めてとなります。

これはそれぞれの学会や研究会での長年にわたる当院の研究努力と成果が認められた結果であります。

今後各学会が成功裏に終わるよう、当院あ

げて準備にはいります。ぜひ共、皆様のご協力ご支援をお願いいたします。

各学会の開催時期と会場は以下の通りです。

第22回日本アフェレシス学会学術大会

平成14年6月：北海道大学学術交流会館

第40回日本人工臓器学会大会

平成14年10月：京王プラザホテル札幌

第6回アクセス研究会

平成14年10月：京王プラザホテル札幌

日本医工学治療学会第19回学術大会

平成15年5月：北海道大学学術交流会館

第7回日本気胸学会総会

平成15年9月（予定）：場所は未定です

循環器科が充実・水曜日午前も診療

循環器科は毎週月曜日と木曜日の午前診療でしたが、平成13年9月より水曜日の午前診療を加え、より充実することができました。（外来担当医一覧表は4頁に記載しています）  
当院の内科系は、内科・消化器科・呼吸器科・循環器科を標榜しています。何科を受診してよいのか分からない時は、総合受付の看護婦等職員にお尋ねください。

## 札幌北榆病院基本方針

- 1：患者さんに公正な医療を提供します。
- 2：患者さんの権利を尊重し、分かりやすい医療を行います。
- 3：患者さんの安全を保証し、快適で安心して治療に専念できる場を提供します。
- 4：高度医療を積極的に推し進めます。

私たちは、管理栄養士4名・調理師12名・調理補助員10名の計26名で毎日の食事作りや栄養相談などを担当しています。

午前5時30分から朝食作りが始まり、夕食の洗浄が終わるのが午後8時になります。

1日の食事の数は約850食、種類は一般食・軟菜食・流動食・特別治療食・職員食など20種類以上にも及びます。



最近病院給食を外部業者に委託するところが多くなっていますが、当院では可能な限り患者さん個々の希望等を考慮し、きめ細かいサービスが徹底

できるよう直営で行っています。

病院に限らず、給食という『調理のおばさん』というイメージが強いのですが、今の調理場は、40歳の調理主任を筆頭に調理師の平均年齢31歳ととても若く、男性調理師も6名と多いのが特徴となっています。その中で私たちが行っている業務の一部をご紹介します。

### 食事の目的

私たちが食事をする目的を考えると次のような点が挙げられます。

空腹を満たすため

栄養補給のため（生命維持・健康維持・病気の治療も含む）

嗜好を満足させる（美味しい物を食べる）

人間関係を円滑にする（食卓を囲む）

病院の食事が医療の一環であることから、目的の全部は満たされず、たとえ美味しくない場合でも、病気を治すためだから我慢をし

なくてはならないと、病院側も患者側も納得していた時代が長く続いていました。

### 患者食堂

ところが、1980年頃から、医療全体が大きな転換期を迎え、病院を「治療の場」から「生活の場」と捉える様になってきました。

当院では開院当初（昭和60年）から「食事は食事に適した環境の食堂で食べるのが一般的な生活の姿」という趣旨からその頃では珍しかった「患者食堂」を設けております。

基本的には、療養上絶対安静の患者さん以外歩行可能な方は、リハビリの効果も期待し食堂で食事をとっていただくシステムになっております。

食堂は、現在では、西棟1階と東棟3・4階にあります。

### バイキング食

西棟の大きな食堂を使用して年8回『バイキング食』を提供しています。

毎回季節ごとの行事やテーマ（節分、ひな祭り、七夕、土用丑の日、お月見など）から食材や料理を吟味し、入院中でも食



事療法中でも楽しんで食事していただけるように約2年前からはじめました。

写真は前回（平成13年9月11日）『北楡秋祭りバイキング』の様子です。

秋祭りの雰囲気味わっていただこうと屋台の焼きそばや綿あめコーナーなどを設け、縁日出店風のメニューや、職員のはっぴ姿なども登場しました。

毎回、約70～80名位の患者さんが参加され、車椅子でも歩行器でも参加できるように専用席や介助者などにも気を配っています。

普段食欲のない方でも、色々選んだり、皆

さんと一緒に「わいわい」とすることで「いっぱい食べられたよ」とか、食事の終わった患者さんは口々に「おいしかった」と満足してお部屋に戻られます。

今後は10月に『秋の味覚バイキング』、12月に『クリスマスバイキング』を予定しています。

バイキング食以外にも、楽しんで食事していただけるように週1～2回の選択メニューや行事食としてのお弁当献立なども実施しています。



大晦日のお膳



お弁当献立



パンって以外に塩分が高いですよ

何回も繰り返して聞かないと忘れてしまうもんだ

この間の料理おいしかったわ

### 管理栄養士による透析食事教室

#### 食事療法の目的

食事療法の目的は、日頃食べている食品の選択、食べる量、さらに食べ方を調整することにより、病気の予防・治療・あるいは増悪や再発防止に役立てることにあります。糖尿病だから、透析を受けているからというだけではなく、たとえば骨折で入院している方でも、病院の食事は健康管理を考えた上で提供していますので、何でも自由に食べてもいいというわけにはいかないのです。

食事療法を理解するのに毎日の食事を見ていただくとその内容が具体的でわかりやすい

と思いますが、常時管理栄養士が「個人栄養相談（予約制）」、「集団食事教室」などを開いて、食事の相談に応じています。

#### 透析食事教室

栄養相談の一環として、透析患者さん対象に毎月1つのテーマを決めその料理や食品に関する栄養価・検査データとの関連・料理方法や食べ方の工夫などお話しています。実際の料理を見たり、試食したり、患者さん同士の体験談・工夫談等も交えながら約1時間くらいの教室を開いています。

終わりに

先日、北海道新聞社が道内千五百人の中高年者対象におこなったアンケート調査で「関心がある情報」・「老後で気がかりなこと」・「老後の幸福に必要なもの」の各項目で「健康」という答えが第一位でした。 に効く食品やサプリメントなどブームが起きては消えていくのも「健康でいたい」と思う気持ちの現れだと思います。但し、1つの物を取り上げ良いとか悪いとか言っていますが、どんな食品でも長所・短所があり、良いと言われているものでもとり過ぎれば害になることも

ありえます。

食生活の変化に伴って「飽食」と言われる反面、「生活習慣病」の増加など問題点も指摘されています。情報に振り回されないように、見極める目を持ち、食生活を楽しみながら送っていただきたいと願っております。

食事や食品・料理の作り方・栄養についてなど、分からないことがありましたら何でもお気軽にご相談ください。

栄養課 管理栄養士 定 恵利



### 各診療科医師外来担当表

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科	比嘉 小笠原	小林	笠井 今井 木山 近藤	小川	比嘉 小林 小笠原	笠井 東梅	木山 小川	近藤	笠井 比嘉 木山 東梅	今井	松野 交代
消化器科	斉藤 露口	中井	大泉 三浦	斉藤	斉藤 太田	川村	斉藤 三浦	大泉	川村	露口	
呼吸器科	本田		本田		本田		本田		本田		
循環器科	山田				横山		舟山				
外科	川村	目黒	米川	久木田	目黒 田中	水戸 交代	玉置	堀江 増子 隔週交	久木田	玉置	水戸 交代
整形外科	東 高橋		東		高橋		東		高橋		
小児科	安田		安田		安田		安田		安田		安田

眼科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
歯科	今井	今井	今井	-	今井	今井	今井	今井	今井	今井
禁煙相談	午前中随時受け付けています。									
ｽｰﾌﾞ外来	-	中尾	-	-	-	中尾	-	-	-	-

印： 北大からの派遣医が担当いたします。

印： 10時まで大泉10時から中井が担当

# 休憩室

明日から夏休みという日。仕事もおおかた片づいたところに自宅から電話があった。札幌の病院で父が手術をすることになったと妻が知らせてきたのだった。

久ぶりに帰って来た北海道はいっそう便利になっていて、昼過ぎに東京を発ったのに午後5時前には地下鉄沿線の病院に着くことができた。受付で聞いた手術室の待合いに行ってみると、そこに小さくなって長椅子のすみに座った母と落ち着かない様子で窓の外を見ている妹がいた。私を見るなり「家に遊びに来ていて急におなかが痛いだの疲れただのって横になってしばらくしたら急に血を吐いて...。」久しぶりに会ったにもかかわわらず妹は堰を切ったようにしゃべりだした。「元気だったか。」母が小さな顔をむけ言った。

北海道の寒村の半農半漁の家庭に育った私は、東京の大学に行きそのまま東京の企業に就職した。本心では家業を継いで欲しいと思っているはずの両親のことを考え、毎年盆暮れには必ず帰省していたのだが、ある時考え方の違いから父と大喧嘩となった。それ以来、私は帰省しなくなった。通信も年賀状などのやりとり程度となり、もう10年近く会っていない。妹も札幌に嫁いだので、今では70才近くになった両親だけがひっそり田舎で暮らしている。

手術が終わったらしく名前を呼ばれ、担当の医師から結果についての話があった。「大きな心配事とかなかありましたか？」医師の言葉に自分に言い聞かせるように答える母。「昔はにぎやかな人だったんですが、このごろは特に話すことなく...。」

十二指腸の壁に穴があいて、そこから出血したとのことだった。手術はうまくいって安心した。

説明が終わって廊下に出たら、父がベットにのって手術室から出てきた。日焼けで真っ黒だった顔も細く白く見え、まだ麻酔が効いているのか眠っているようだった。ふと「父はもっと大きいと思っていたの一体どうしたんだ。」と感じ、なぜか無性に腹が立った。

ICUで看護婦長さんがこれからの予定など教えてくれ、最後に「今日のご家族の方がそばにいてくれるのでお父様もきっと安心して休めますね。」と言いながらなにかの鍵を渡してくれた。「そうだ！お父さんの事心配だし、兄さんが遠くから来るから今日は病院に泊まれるようお願いしてあったんだ！」妹が急に思い出したように話し出した。

もう8時近くになっており、気が付けば何も準備していない。病院に泊まる。私はそのようなシステムを全く知らなかったし、この病院でそのような設備を整えていることに驚いた。

部屋は病院というイメージとは全く違って出張で使うホテルと同じ雰囲気だ。近くのレストランで食事を済ませ部屋に戻りぼんやり天井を見上げていた。ふと窓の外を見た。細い道路を隔てたあの部屋に父がいる。考えてみれば形はどうあれ父と同じ屋根の下で寝るのは何年ぶりだろう。

ごつい父の手で頭をなぜられる事がうれしくて一所懸命がんばった小学生の頃、あの頃、なんでも父が世界で一番だった。高校進学を考えた頃から徐々に心が田舎や親からはなれて行き、父との会話も少なくなっていった。東京の大学を受験したいと相談した時にも「好きなようにしろ。」としか言わなかった。銀行がカード時代になっていっても現金書留で決まった日に送金してきた。親に負担をかけまいとアルバイトをしたり、奨学金も受けられるようにして、「お金は送らなくていい。」と言ったら、喜ぶどころか寂しそうに「わかった。」と言っていた。

小さな舟で磯に出て、ウニやアワビを捕る父。市場に出してしまい、私たちは滅多に口にできなかった。家を離れたとたん、そんな海産物が、小さな畑でとれた野菜と一緒に季節ごとに送られてきた。

就職し、仕事が面白くなり、“長”が肩書きに付くようになった頃、「もう仕事をやめて東京で一緒に住まないか。」と上京を勧めてみた。その一言が喧嘩の始まりだった。

「あの窓の所にいるんだな。」深夜、ICUから漏れてくる無機質な窓の明かりに、不思議とぬくもりを感じ飽きずに見つめていた。

翌朝、早くからICUの前で待ち、面会時間になるとすぐに部屋に入っていった。婦長さんに教えられた方に父がいた。こちらを見ている。近づく私を目で追っている。ベットの横に行って「痛むかい？」ときいたらそれに答えず、あまり出ない声で「仕事を休んでいいのか。」と言い、「今日から夏休みだ」と告げると、うなずきながら目を閉じ眠った。

その日の昼には東京から妻と子供がやってきた。妻子がお袋や妹と話す様子から私の知らないうちに連絡を取り合っていたようで、久しぶりに会うような話し方ではない。私だけが意地を張っていた様である。

経過は順調でその翌日の昼には一般病室に移った。

あれから2週間たち、父は札幌の病院を退院し、紹介された田舎にある父母の家から車で20分ほどの町の病院に通院する事になった。病院まで送り迎えをしているのは私の妻で、子供達は私の田舎でまだ夏休みを楽しんでいる。都会しか知らない私の家族にとって田舎は新鮮で楽しいらしい。子供が夏休みの間は私を単身赴任にするつもりで、様子を伝えてくれる妻の電話の向こうに私の子供と話す父の明るい声が聞こえる。父の手術の日、病院が提供してくれた家族について考えた時間、あの部屋から見た父の病室の窓を思い出すたびに、大切にしないでならないものをもう一

# 療養情報センターニュース

一雨ごとに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

この時期は寒暖の差が大きい時ですので、体調には十分気を付けて下さいね。

今回は

- ・札幌市における医療費助成制度  
(乳幼児・重度・母子)の改正
  - ・介護保険料の納付
- についてお伝えします。

## < 医療費助成制度

### (乳幼児・重度・母子)の改正 >

\*札幌市のみ改正です

平成13年10月1日より、医療費助成制度が一部改正されます。

- ・少子化対策の一環として、乳幼児医療費助成の通院対象年齢が拡大します。
- ・今後も医療費助成制度を安定的に維持していく必要があることから、資格要件に所得による制限が加わります。

## (1) 乳幼児医療

子どもの健やかな成長を願い、保護者が支払う医療費を助成する制度です。

対象は札幌市内に住居登録または外国人登録をしていて、健康保険に加入している6歳未満の子どもであり、医療保険の対象となる疾患に該当されます。

子どもが病院にかかったときの医療費のうち、保険診療の自己負担額が助成されるため、初診時の一部負担金を除くと自己負担はありませんが平成13年10月1日より所得制限があります。

ただし、通院費と入院費では助成の対象となる年齢が異なり、また今回の改正により、通院の助成対象年齢が1歳拡大されました。

通院費

：旧) 0～3歳未満      新) 0～4歳未満  
入院費：0～6歳未満(従来どおり)

## (2) 重度心身障害者医療

心身に重度の障害を持つ方が安心して暮らせるように医療費の一部を助成する制度です。

対象は札幌市内に住居登録または外国人登録をしている健康保険の被保険者もしくは被扶養者で、次の1) 2)のいずれかに該当する方です。

- 1) 身体障害者手帳1～3級の交付を受けている方。ただし3級では心臓、腎臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、または小腸の機能障害に限る。
- 2) 療育手帳「A」の交付を受けている方、あるいは「重度」と判定(診断)された方。

通院および入院費のうち、保険診療の自己負担額が助成されるため、初診時の一部負担金を除くと自己負担はありませんが平成13年10月1日より所得制限があります。



### (3) 母子家庭等医療費

母子家庭等の母親や児童が健康に暮らせるように、医療費の一部を助成する制度です。

対象は

[児童]

- 1) 母親に扶養もしくは監護されている18歳未満の児童。
- 2) 両親の死亡、行方不明などの事由で両親以外の人に養育されている18歳未満の児童。
- 3) 18歳以上20歳未満の未就労の児童で、母親が属する世帯全員が所得税非課税であること。

[母親]

- 1) 前記児童1)を扶養または監護している母子家庭の母親。
- 2) 18歳以上20歳未満の未就労の児童を扶養している母子家庭の母親。

通院および入院費（母親は入院費のみ）のうち、保険診療の自己負担額が助成されるため、初診時の一部負担金を除くと自己負担はありませんが平成13年10月1日より所得制限があります。

\*このような(1)から(3)までの医療費助成はこれまで所得制限はありませんでした。しかし、平成13年10月1日からは所得の要件が加わり、主たる生計維持者の前年の所得額が限度額以上の場合は、医療費の助成を受けることができなくなります。

(ただし、乳幼児医療については、平成13年3月31日以前に生まれた乳幼児は除かれます)



・以下、扶養人数1人につき、乳幼児医療は38万円、重度医療は21万3千円、母子医療は38万円が加算されます。

・老人扶養親族があるときは1人につき、所得額に6万円が加算されます。

・扶養人数は、平成12年分所得税における控除対象配偶者と扶養親族の合計です。

\*なお、人工透析の治療を受けられている方で所得額が限度額以上の方は医療費の自己負担が発生しますが、特定疾病療養受療証の交付がされていれば自己負担額は低額で済みます。医療費の支払いについてご相談のある方は事務窓口または療養情報センタ-までお問い合わせください。

### < 介護保険料の納付について >

今年の10月から高齢者の方の本来の介護保険料額の納付が始まります。

これまで65歳以上の方(第1号被保険者)については、介護保険の新しいサービスの利用法などを理解してもらいながら保険料の負担をしていただけるように

1) 平成12年4月から9月までの半年間は、保険料を納めなくてよい

2) 平成12年10月から今年9月までの1年間は、本来の保険料の半額を納めるとなっていましたが、今年10月からは本来の保険料の額を納めなくてはなりません。世帯で主に生計を支えている方の失業や災害などで保険料の納付が困難なときは、市町村の窓口でご相談ください。

	い°ócéà,,ó	èdixêSêq è-äQé“à,,ó	ííéqâDíí iôà,,ó
îŋófélêî	èäiæá,ixáz	èäiæá,ixáz	èäiæá,ixáz
Å@QOÅ@é	CSCUCOñúá	CUQCQWñúC	CQCRCUñúá
Å@CPÅ@é	CSCXCWñúá	CUCTCRñúC	CQCVCSñúá
Å@CQÅ@é	CTCRCUñúá	CUCVCSñúC	CRCPCQñúá
Å@CRÅ@é	CTCVCSñúá	CUCXCUñúC	CRCTCOñúá
Å@CSÅ@é	CUCPCQñúá	CVPCPCñúC	CRCWCWñúá

# お答えします

**Q** 駐車場のスペースが十分あるにもかかわらず、なぜ駐車させてもらえないのですか  
駐車場の「予約」って何ですか。

入院患者さんの家族から

**A** 西側の駐車場において、午後の2時間程度予約という状況が生じます。

定期的に透析を必要としている患者さんは決められた時刻に透析をしなければならないために、予約しています。午後の一定の時間だけですのでご理解をお願い申し上げます。

**Q** ”盗難注意”の張り紙が各所

にあります。予防のため貴重品現金などを預かってもらえますか。

入院患者さんから

**A** 事務で保管いたします。

入院する場合、多額の現金や貴重品を持参されないようお願いしていますが、やむを得ず持参された方については東棟一階事務（総務課）でお預かりする事ができますので、ご希望の方はご相談ください。

取扱時間は

平日は9:00～17:00

土曜日は9:00～12:00

日曜日祝祭日はお休みです。

なお病室における盗難が時折発生いたします。貴重品はいつも身近におき、病室を離れるときは身につけるなど十分な注意をお願いいたします。

## < 診療情報提供について >

当院では診療情報の提供を行っております。受付窓口は療養情報センターとなっておりますが入院患者さんは各病棟婦長に外来患者さんは外来婦長にお尋ねください。ご不明な点は東棟二階療養情報センターまでお問い合わせください。



### 編集後記:

昨年の秋号の編集後記に北海道の美味しいものについて書いたような気がいたします。あっという間の一年です。

今年の夏は長雨や日照時間の不足など、からっとなかったため農作物の作柄や収穫量が心配です。

前号でお願いしたところみなさまからいろいろな写真をたくさん戴きましたありがとうございます。季節や記事に合わせて使わせていただきます。

広報誌「エルム」は季節毎 4回/年 発行しています。  
(熊沢 濱田)

### 特定医療法人北楡会 札幌北楡病院

診療科目: 外科・内科・消化器科・呼吸器科  
循環器科・小児科・整形外科・眼科  
麻酔科・放射線科・歯科

住所: 札幌市白石区東札幌6条6丁目5番1号

TEL: 011(865)0111

FAX: 011(865)9634

交通: 地下鉄白石駅5番出口から

環状通り北へ徒歩5分